

新年 あけましておめでとうございます！

新しい年の幕開けです。今年も、心身ともに元気で健康に過ごせるよう、食事のバランスに気を付け、規則正しい生活を心がけていきましょう。

港南中では、**1月24～27・31日**に取り組みます★

毎年1月24～30日は…

全国学校給食週間です！

学校給食の歴史の巻

学校給食は、**明治22年、山形県鶴岡市の忠愛（ちゅうあい）小学校（お寺）で、お弁当を持ってくることをできない児童を対象に、屋食（おにぎり・焼き魚・漬け物）を出したのが始まり**です。その後、給食は全国に広まりましたが、**第二次世界大戦**が激しくなると給食は中止になり、食べるものが不足して、たくさんの子どもたちが苦しみました。

戦後も食糧難は続き、子供の栄養不足が心配されました。「ララ（アジア救済団体）」から**脱脂粉乳**が寄贈されると、**昭和21（1946）年12月**から**東京、神奈川、千葉で学校給食が再び始まり**、この日が給食記念日となりました。ただし12月24日が冬休みに入るため、1ヵ月後の**1月24日**からの1週間を「**全国学校給食週間**」としたのです。

子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化する今日、「学校給食」は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健康的で心豊かな食生活を送るために、とても重要な役割を果たしています。

これにちなんで…

1月24・25日の給食は、**給食の歴史**をテーマに、

★**明治22年 最初の給食「おにぎり」**

★**昭和30～40年頃の給食「あげパン・カレーシチュー」**が登場します。

26・27・31日の給食は

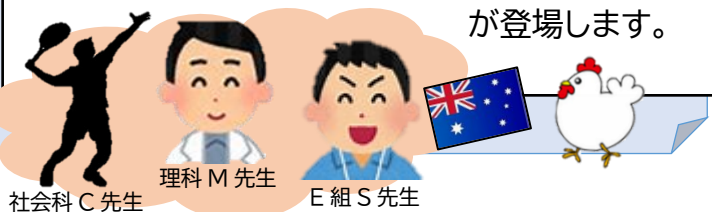
『先生 思い出コラボ給食』

3名の先生方の思い出をテーマに、

★**東京都の地場産物「ムロアジ・明日葉」**

★**岐阜県の郷土料理「鶏ちゃん」**

★**オーストラリア料理「ミートパイ」**が登場します。



学校給食の移り変わり

昭和22(1947)年1月

戦後すぐの給食は、アメリカからの支援物資である脱脂粉乳と、脱脂粉乳と缶詰で作ったシチューなどが提供された。



- ・脱脂粉乳
- ・トマトシチュー

昭和27(1952)年

肉は手に入らないため、主に鯨肉がたんぱく源として提供された。



- ・脱脂粉乳
- ・鯨の竜田揚げ
- ・コッペパン
- ・サラダなど

昭和52(1977)年

米を使った学校給食が始まる。



- ・牛乳
- ・カレーライス
- ・果物
- ・サラダなど

完全給食と呼ばれる現在の給食の形になる

